

News Release

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故の防止（注意喚起）

本格的な冬を迎え、多くの家庭で電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等の暖房機器^{※1}を使用する機会が増加する季節ですが、これらの製品による事故は12月～2月に最も多く発生しており、使用の際には注意が必要です。

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※2}において、電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は、平成21年度から平成25年度までの5年間に、合計1,217件^{※3}ありました。被害状況別に見ると、死亡事故32件、重傷事故62件、軽傷事故92件、拡大被害^{※4} 455件、製品破損^{※5} 566件、他10件となっています。このうち火災と判断されたものは221件（18.2%）あります。また、社告・リコール製品による事故は372件（30.6%）ありました。このうち、社告・リコール実施後に発生した事故は96件（7.9%）です。

これらの事故の中で、使用者の誤使用や不注意といった使い方等による事故（事故原因区分B～F^{※6}）は合計289件（全体の23.7%）発生しており、このうち42件（14.5%）が重篤な人的被害（死亡10件、重傷32件）となっています。

事故の状況を分析すると、発熱体の周囲に洗濯物等の可燃物を置いたため着火した、電源コード類に繰り返し屈曲等で負荷がかかったため芯線が断線して異常発熱・発火した、発熱体に接触してやけどを負った等、電気暖房機器に特徴的な事故が多く発生しています。また、ゆたんぽ、カイロ等においては低温やけどの事故が多く、重傷に至る割合も非常に高くなっています。

【主な事故事例】

- 電気ストーブを使用中、周囲に置いた可燃物に着火して火災が発生し、1人が死亡した。
- 電気マットの一部を布団で長時間覆っていたため、局所的に過熱されてヒーター線が異常発熱し、火災が発生して周囲を焼損した（拡大被害）。
- ゆたんぽを布団の中に入れたまま就寝し、長時間足に接触していたため、低温やけど（重傷）を負った。

これらの事故の中には、製品を使用する際の点検や注意、事故の予兆に早めに気付く、製品の事故情報や社告・リコール情報を入手する等によって未然に防げるものがあります。

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等を使用する機会が増加する時期に際して、製品を正しく使用し、事故を未然に防止していただくため、注意喚起を行うこととしました。

（※1）電気ストーブ（オイルヒーターを含む）、電気温風機（ファンヒーター）、電気カーペット、電気こたつ、電気毛布、電気マット、電気あんか、電気足温器、電気ひざ掛け、ゆたんぽ、カイロ、豆炭あんか・こたつ。

（※2）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※3）平成26年10月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

（※4）製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

（※5）被害状況別で、人的被害と同時に物的被害が発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

（※6）別紙1参照。

1. 事故の発生状況（全体）

（1） 年度別 事故発生件数

図1に「年度別 事故発生件数※7」を示します。

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は、毎年150件を超える事故が発生しており、死亡・重傷といった重篤な事故も毎年20件前後発生しています。

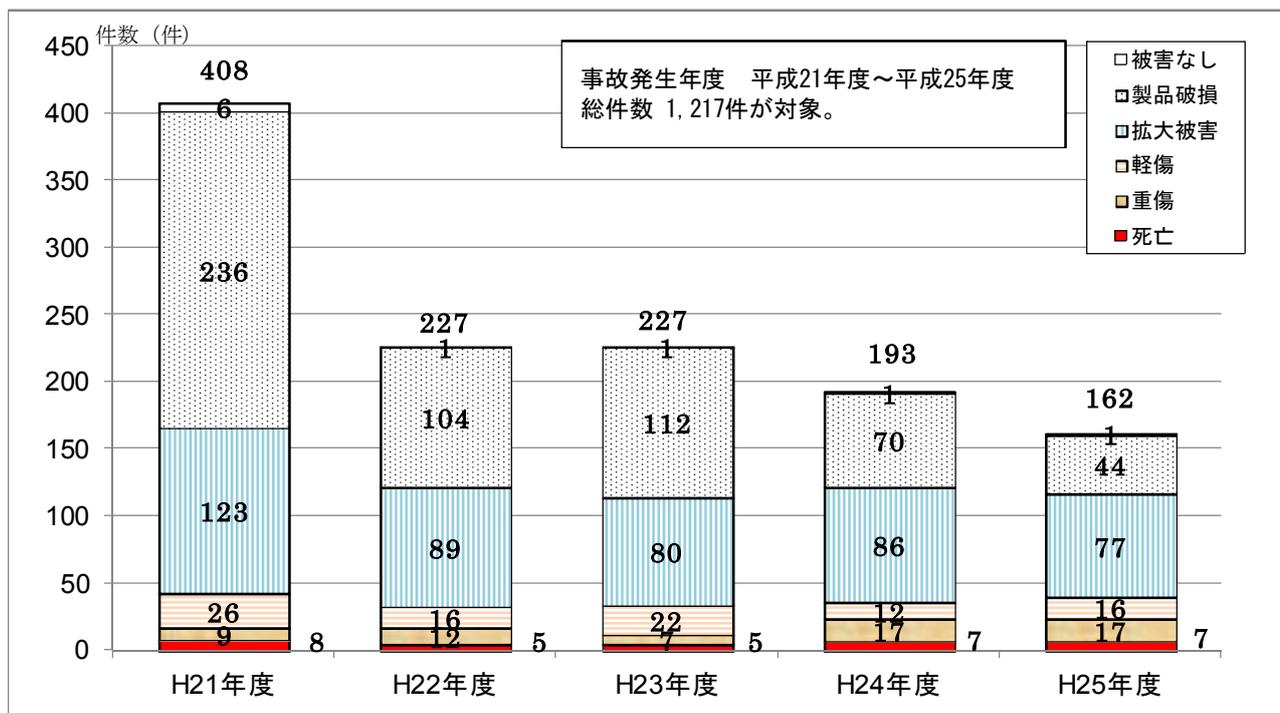


図1 年度別事故発生件数

（※7） 同一事業者による製品の多発事故を含む。

電気温風暖房機の設計不良に伴う接続端子の異常発熱（製品破損）…平成21年度133件、平成22年度43件
電気ストーブの安全装置動作不良によって吹き出し口付近の樹脂の過熱（製品破損）…平成23年45件

(2) 月別 事故発生件数

図2に「月別 事故発生件数」を示します。

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は、12月から2月にかけて最も多く発生しています。

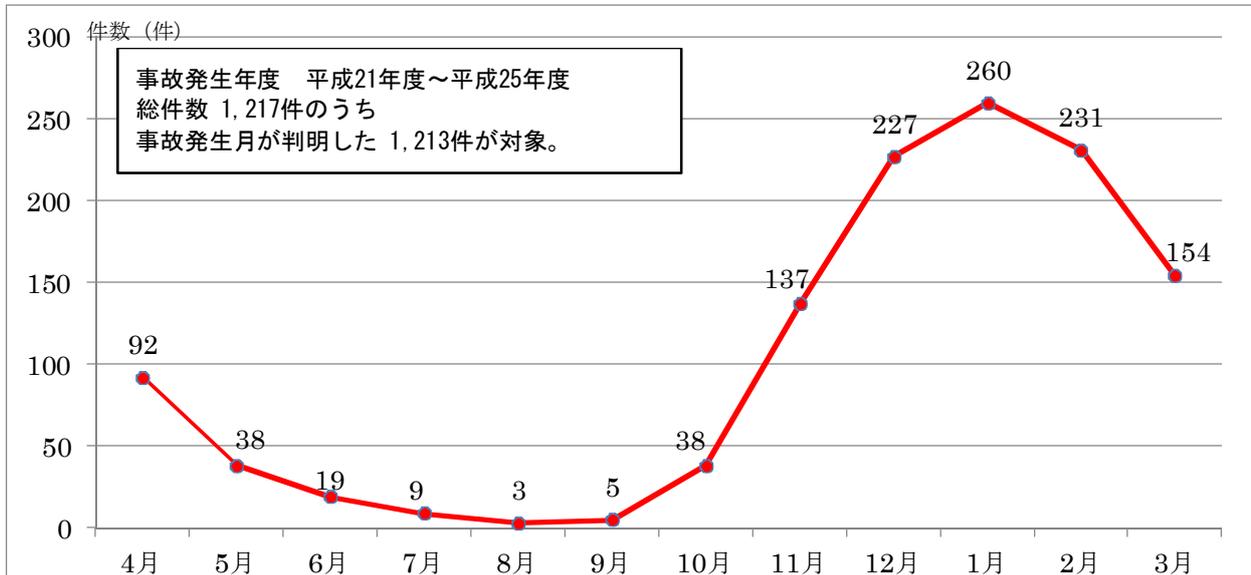


図2 月別事故発生件数

(3) 製品別 被害状況別 事故件数

表1に「製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

電気ストーブの事故が最も多く579件発生しており、次いで電気温風機247件、電気カーペット94件、電気こたつ84件、更に、ゆたんぽ67件等、合計1,217件の事故が発生しています。また、火災と判断されたものは、221件(18.2%)あります。

人的被害では、電気暖房機器において、火災を伴う事故によって死亡・重傷といった重篤な被害に至る割合が高くなっています。特に死亡事故32件は、すべて火災を伴う事故となっています。

また、ゆたんぽやカイロにおいては、低温やけどなどの重傷事故に至る割合が高くなっています。

表1 製品別 被害状況別 事故件数^{※8}

被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損		
製品の種類								
電気暖房機器	電気ストーブ	21 (23) [21]	3 (4) [1]	43 (63) [22]	236 [106]	271	5	579 (90) [150]
	電気温風機 (ファンヒーター)	4 (6) [4]			33 [13]	207	3	247 (6) [17]
	電気カーペット	1 (1) [1]	3 (3) [1]	5 (7) [3]	59 [6]	26		94 (11) [11]
	電気こたつ	2 (2) [2]	2 (2) [1]	12 (13) [4]	48 [17]	19	1	84 (17) [24]
	電気毛布	3 (3) [3]	8 (8) [1]	4 (4) [1]	20 [5]	5		40 (15) [10]
	電気マット	1 (1) [1]	1 (1)	4 (5)	23 [2]	7		36 (7) [3]
	電気あんか		4 (4)	3 (5) [1]	20 [3]	7		34 (9) [4]
	その他電気暖房機器 (電気足温器、電気ひざ掛け)			2 (2)	4 [1]	15		21 (2) [1]
ゆたんぼ		36 (36)	15 (16)	8	7	1	67 (52) [0]	
カイロ		5 (5)	3 (3)	1	2		11 (8) [0]	
豆炭あんか・豆炭こたつ			1 (1)	3 [1]			4 (1) [1]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	32 (36) [32]	62 (63) [4]	92 (119) [31]	455 [154]	566	10	1217 (218) [221]

(※8) 平成 26 年 10 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(4) 年代別 被害人数

図3に「年代別 被害人数」を示します。

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故の人的被害は、いずれの年代においても発生しており、年代によって多少の差はあるものの死亡・重傷といった重篤な被害に至る割合が高くなっています。

特に60歳以上の高齢者^{※9}においては死亡に至る割合が高くなっています。火災を伴った就寝中の事故などもあり、全世代における死亡者数29人のうち25人(86.2%)が高齢者です。

なお、10歳未満の子供や10歳代においては、電気ストーブに可燃物が接触したことによる火災や暖房機器の高温部やゆたんぽから漏れたお湯に接触したこと等によるやけど、ゆたんぽや電気あんかに長時間接触したことによる低温やけど等の事故が発生しています。

また、20歳代の死亡事故(2人)は、電気温風機周辺においたウレタン製ソファが温風によって過熱され、発火して生じた火災によるものです。

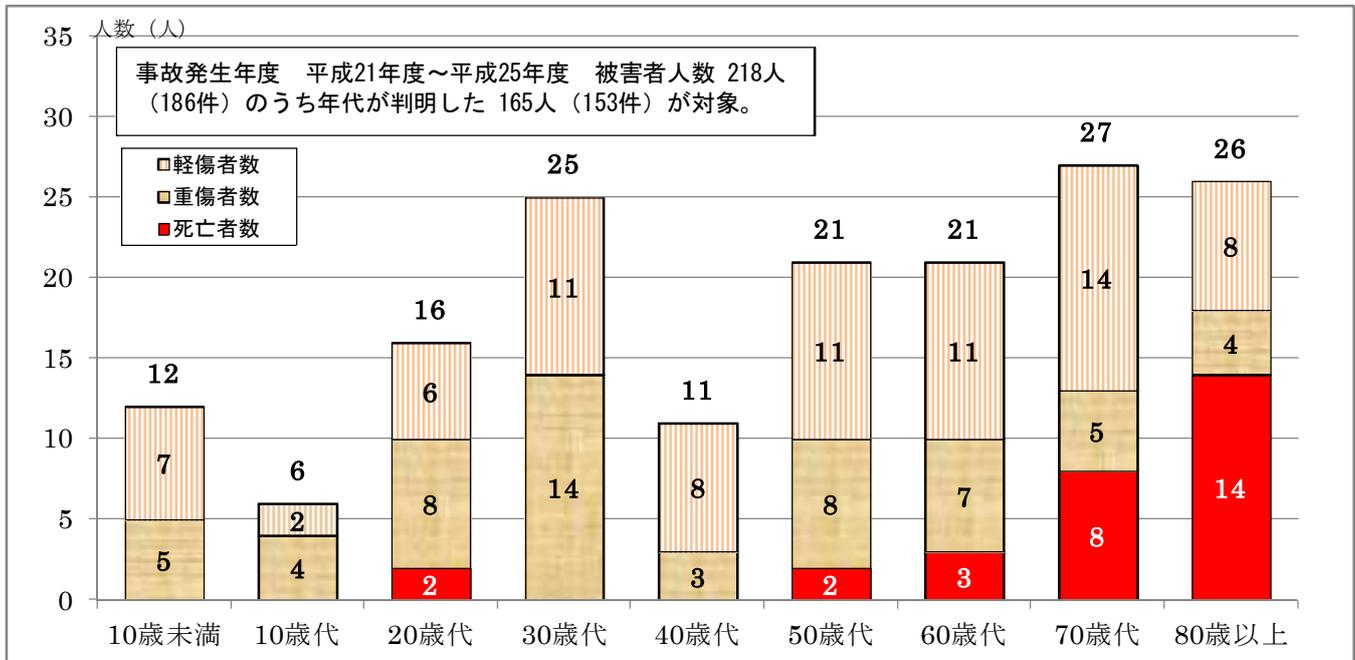


図3 年代別 被害人数

(※9) NITE 事故情報収集データベース分析上、10歳未満を子供、60歳以上を高齢者と表現している

(5) 事故の使用期間別 事故発生件数

図4に「使用期間別 事故発生件数」を示します。

製品別に見ると、電気温風機において、使用期間2年、3年、4年に事故が多く発生しています。これは、同一事業者による電気温風暖房機の事故で、設計不良に伴う接続端子の異常発熱が103件発生したことによるものです。

また、ゆたんぼ・カイロ等においては、使用開始から1年未満の事故（使用に不慣れ）が最も多く発生しています。

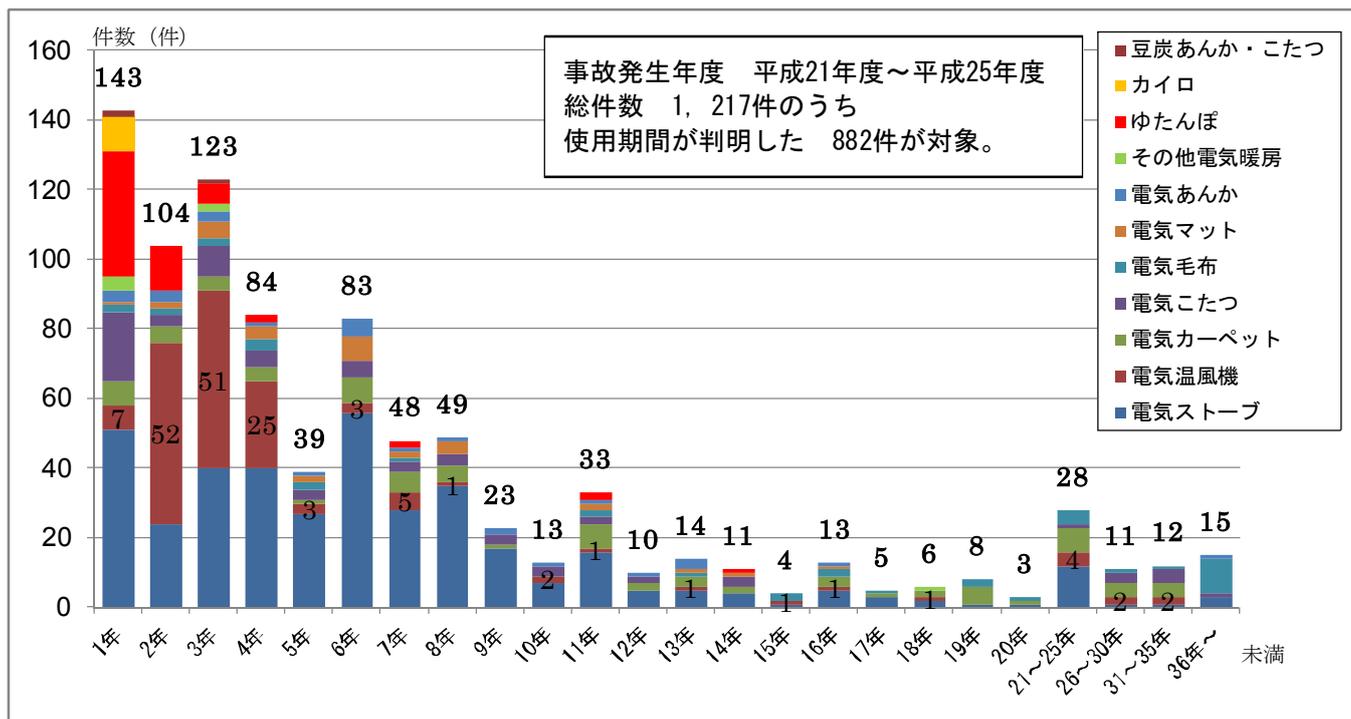


図4 使用期間別 事故発生件数

(6) 事故原因区分別 事故件数

① 事故原因区分別 事故件数

図5に「事故原因区分別 事故件数」を示します。

電気暖房機器やゆたんぼ、カイロ等による事故 1,217 件について、事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 709 件（58.3%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 234 件（19.2%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 176 件（14.5%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 98 件（8.0%）

の比率になっています。

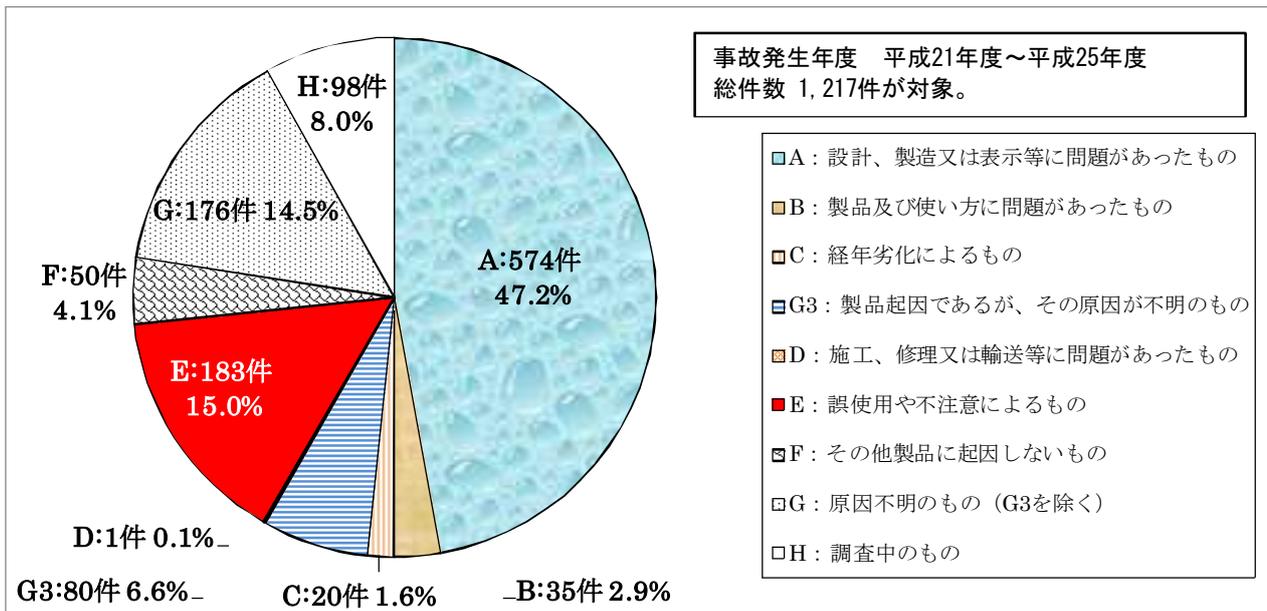


図5 事故原因区分別 事故件数

② 事故原因区分別 被害状況

表2に「事故原因区分別 被害状況」を示します。

死亡、重傷、軽傷の人的被害を伴う事故に着目すると、総合計 186 件ありますが、そのうち「製品に起因する事故」は合計 35 件（18.8%）、「製品に起因しない事故」は合計 69 件（37.1%）発生しており、「製品に起因しない事故」の人的被害の方が多く発生しています。

その中でも「事故原因区分 E：使用者の誤使用や不注意によるもの」が人的被害の発生件数が最も多く、合計 54 件（29.0%）あります。

また、「事故原因区分 G：原因不明のもの」は合計 176 件（事故全体の 14.5%）あり、死亡・重傷事故も合計 16 件発生していますが、製品事故に伴う火災等によって製品本体や主要な部品等が焼失した等によって、原因の特定に至らなかったものです。

表 2 事故原因区分別 被害状況※8

被害状況 製品の種類		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	2 (2) [2]	5 (5)	16 (21) [2]	106 [20]	440	5	574 (28) [24]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの		4 (4)	4 (5)	5 [1]	22		35 (9) [1]
	C: 経年劣化によるもの			2 (2)	12	6		20 (2) [0]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの		2 (2)		41 [6]	37		80 (2) [6]
	小計 (事故件数)	2	11	22	164	505	5	709
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送等に問題があったもの				1			1 (0) [0]
	E: 誤使用や不注意によるもの	6 (7) [6]	24 (24)	24 (27) [9]	111 [51]	18		183 (58) [66]
	F: その他製品に起因しないもの	4 (5) [4]	4 (4)	7 (14) [3]	30 [18]	3	2	50 (23) [25]
	小計 (事故件数)	10	28	31	142	21	2	234
G: 原因不明のもの (G3を除く)		12 (14) [12]	4 (4)	29 (35) [14]	99 [35]	29	3	176 (53) [61]
H: 調査中のもの		8 (8) [8]	19 (20) [4]	10 (15) [3]	50 [23]	11		98 (43) [38]
合計	事故件数	32	62	92	455	567	10	1217
	被害者数	(36)	(63)	(119)				(218)
	火災件数	[32]	[4]	[31]	[154]			[221]

(7) 事故の現象別 被害状況

① 電気暖房機器の現象別 被害状況

表3に「電気暖房機器の現象別 被害状況」を示します。

電気暖房機器の誤使用や不注意な使い方等による事故(事故原因区分B~F:257件)において、事故発生件数が多い現象を示しています。

「洗濯物など可燃物の接触等による着火」が最も多く、69件発生(26.8%)しています。これは電気ストーブ、電気温風機、電気こたつにおいて多く発生しており、発熱体の近くに置いた衣類や布団、ソファ、雑誌等の可燃物が、接触したり至近距離で加熱されたこと等によって着火したものです。

次いで、「電源コード類への過度の荷重や繰り返しの屈曲等により、断線して異常発熱・発火」が55件(21.4%)発生しています。これは、電気製品全般に多く見られる事故ですが、電源コード付け根付近や温度コントローラ付け根付近の屈曲、家具等の重量物による荷重によって電源コードに負荷がかかり、コード芯線が断線し、スパークが生じて発火したものです。

その他、電気カーペットや電気毛布、電気マット等において、「ヒーター線への負荷や局所的な過熱等により異常発熱・発火」や「長時間皮膚に接触したことによる低温やけど」といった事故が発生しています。

表 3 電気暖房機器の現象別 被害状況※8

被害状況 現象の内容		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因区分B、F	洗濯物など可燃物の接触等による着火	5 (6) [5]		10 (12) [8]	53 [31]	1		69 (18) [44]
	電源コード類への過度の荷重や繰り返しの屈曲等により、断線して異常発熱・発火			4 (4) [1]	39 [10]	12		55 (4) [11]
	長期使用に伴う接触不良、コード類の断線等の経年劣化			2 (2)	12	6		20 (2) [0]
	不完全な修理、故障状態の放置等による異常発熱・発火	1 (1) [1]		2 (2) [1]	15 [10]	1		19 (3) [12]
	電気毛布等のヒーター線への過度の負荷や局所的な過熱等により、異常発熱・発火	1 (1) [1]		2 (3)	10	3		16 (4) [1]
	長時間皮膚に接触したことによる低温やけど		7 (7)	3 (3)				10 (10) [0]
	高温部への接触によるやけど		1 (1)	1 (1)				2 (2) [0]
	その他 (スプレー缶等が過熱されて破裂、転倒して可燃物に接触等)	3 (4) [3]		7 (14) [2]	29 [19]	25	2	66 (18) [24]
	小計 (事故件数)	10	8	31	158	48	2	257
A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	2 (2) [2]	1 (1)	13 (18) [2]	102 [20]	434	4	556 (21) [24]	
G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの		1 (1)		40 [6]	37		78 (1) [6]	
G: 原因不明のもの (G3を除く)	12 (14) [12]	1 (1)	21 (27) [14]	95 [35]	28	3	160 (42) [61]	
H: 調査中のもの	8 (8) [8]	10 (11) [4]	8 (13) [3]	48 [22]	10		84 (32) [37]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	32 (36) [32]	21 (22) [4]	73 (99) [31]	443 [153]	557	9	1135 (157) [220]

② ゆたんぼ、カイロ等の現象別 被害状況

表4に「ゆたんぼ、カイロ等の現象別 被害状況」を示します。

ゆたんぼ、カイロ等の誤使用や不注意な使い方等による事故（事故原因区分B～F：32件）において、事故発生件数が多い現象を示しています。

「長時間皮膚に接触したことによる低温やけど」が最も多く21件(65.6%)発生しています。次いで、「ゆたんぼ（電子レンジ加熱式）の過加熱による破裂」で4件、その他、ゆたんぼの湯が漏れてやけど、口栓を外さずに加熱して破裂等の事故が発生しています。

表4 ゆたんぼ、カイロ等の現象別 被害状況※8

現象の内容		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因区分B～F	長時間皮膚に接触したことによる低温やけど		18 (18)	3 (3)				21 (21) [0]	
	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式）の過加熱による破裂		2 (2)	2 (3)				4 (5) [0]	
	その他 （ゆたんぼのお湯が漏れてやけど、口栓を外さずに加熱して破裂等）		4 (4)	1 (1)	1	1		7 (5) [0]	
	小計（事故件数）	0	24	6	1	1		32	
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			4 (4)	3 (3)	4	6	1	18 (7) [0]	
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの			1 (1)		1			2 (1) [0]	
G：原因不明のもの（G3を除く）			3 (3)	8 (8)	4	1		16 (11) [0]	
H：調査中のもの			9 (9)	2 (2)	2 [1]	1		14 (11) [1]	
合計	事故件数	0	41	19	12	9	1	82	
	被害者数	(0)	(41)	(20)	(0)	(0)	(0)	(61)	
	火災件数	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	

(8) 事故の事例

平成 21 年度～平成 25 年度までに NITE に寄せられた事故情報のうち、電気暖房機器やゆたんぼ、カイロ等を使用する際に多く発生している事例を示します。

(ア) 電気暖房機器に関わる事故事例

① 可燃物の接触や加熱によって着火

平成 24 年 2 月 13 日（石川県、死亡、男性・80 歳代）

【事故内容】

電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生し、1 人が死亡した。

【事故の原因】

電気ストーブはコンセントに接続されており、スイッチは通電状態であった。また、周囲には毛布、雑誌、衣類等の可燃物があった。

電気ストーブを使用中に可燃物が接触し、火災に至ったと推定される。

② 電源コード類への過度の荷重や繰り返しの屈曲等によって異常発熱・発火

平成 25 年 1 月 7 日（神奈川県、拡大被害、性別不明・年齢不明）

【事故内容】

電気あんかを使用中、電気あんか及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者は、収納時に電源コードを電気あんか本体に巻き付けていた。

電源コードを巻き付けて収納することが繰り返されたため、電源コードに繰り返しが加えられてコード芯線が断線し、出火に至ったと推定される。

③ 不完全な修理、故障状態の放置等による異常発熱・発火

平成 24 年 12 月 13 日（茨城県、拡大被害、女性・70 歳代）

【事故の内容】

玄関のポーチでペットの暖房用に電気ストーブを使用中、電気ストーブを焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

過去に電気ストーブの電源コードを犬に噛まれ、一部断線したが、ビニールテープを巻いて補修し、そのまま使用していた。

補修が不適切であったため、電源コードが短絡し、スパークが生じて出火に至ったと推定される。

④ ヒーター線への過度の負荷や布団等による局所的な過熱により、異常発熱・発火

平成 22 年 1 月 16 日（大阪府、拡大被害、性別不明・年齢不明）

【事故内容】

電気マットを布団に入れて使用していたところ、電気マット及び周辺が焼損した。

【事故原因】

使用者は布団を温めるために電気マットを使用していた。

電気マットの一部を布団で覆っていたため、覆われた部分が蓄熱されて過熱し、火災に至ったと推定される。

⑤ 長時間皮膚に接触、至近距離であたためたことによる低温やけど

平成 22 年 1 月（岡山県、重傷、男性・50 歳代）

【事故の内容】

電気あんかを使用中、右足に低温やけどを負った。

【事故の原因】

使用者が長時間電気あんかに皮膚を接触させて使用したため、低温やけどを負ったと推定される。

その他、電気カーペットに折れシワがある状態で使用していたため、内部のヒーター一線が折れ曲がり、異常発熱して製品を焼損した事例や、電気温風機の近くに置いたスプレー缶やガスボンベ等が過熱されて破裂した事例等が報告されています。

(イ) ゆたんぼ、カイロ等に関わる事故事例**① 長時間皮膚に接触したことによる低温やけど**

平成 25 年 1 月 23 日（東京都、重傷、男性・60 歳代）

【事故の内容】

ゆたんぼを使用して就寝中、低温やけどを負った。

【事故の原因】

同等品を用いて再現試験を行ったところ、熱湯を入れてから 8 時間経過した後のカバー中央部表面の温度は 44.8℃であった。

使用者がゆたんぼを布団の中に入れてそのまま就寝し、長時間足に接触させて使用したため、低温やけどに至ったと推定される。

② ゆたんぼの口金を外さずに加熱したため破裂

平成 22 年 1 月 16 日（岡山県、拡大被害、男性・60 歳代）

【事故の内容】

口金をゆるめた状態で金属製ゆたんぼを電磁調理器で加熱していたところ、大きな音とともにゆたんぼが飛んで蛍光灯が割れ、電磁調理器が破損した。

【事故の原因】

口金を外さずにゆたんぼを加熱したため、内圧の上昇に耐えられなくなったゆたんぼが破裂して、周囲の蛍光灯や電磁調理器が破損したと推定される。

3. 電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故の防止

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故を未然に防ぐため、取扱説明書の注意事項をよく読み、正しく使用していただくとともに、機器の異常や事故の予兆に早めに気がつくことが必要です。

不具合や故障が判明した時は、使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

(1) 電気暖房機器における注意事項

① 周囲に可燃物等を置かない・就寝時は使用しない

【電気ストーブ】【電気温風機】【電気こたつ】

電気ストーブのすぐそばで衣類を乾燥させる等、電気暖房機器の周囲に衣類や布団、カーテンなどの可燃物は置かないでください。ヒーター部分との接触や放射熱によって過熱され、火災が発生するおそれがあります。

また、就寝時には使用しないでください。寝具が触れる等によって着火し、火災が発生するおそれがあります。



(再現映像) 就寝中、電気ストーブに布団が触れて着火

② 電気カーペット等の上に保温性が高いものを長時間同じ場所に置かない

【電気カーペット】【電気マット】

電気カーペットや電気マットを使用する際、座布団や座椅子、布団など保温性が高いものを長時間同じ場所に置かないでください。局所的に過熱されて、異常発熱・発火するおそれがあります。

③ 電気カーペット等は、折りたたんだ状態やシワがよった状態で使用しない

【電気カーペット】【電気毛布】【電気マット】

電気カーペット等は、折りたたんだ状態やシワがよった状態では使用しないでください。内部のヒーター線の固定がずれ、局所的に過熱されて、異常発熱・発火するおそれがあります。

電気カーペット等は、完全に広げた状態で使用し、シワがよっていないか確認してください。

④ 電源コード類を折り曲げたり、ねじったりしない

【電気暖房機器全般】

電気暖房機器の電源コード類は、折り曲げたりねじったりした状態では使用しないでください。また、収納時に電源コードの付け根や温度コントローラの付け根を極端に屈曲させて保管しないでください。

電源コードに負荷がかかり、芯線が断線して異常発熱・発火するおそれがあります。

(2) 電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等全般における注意事項

① 低温やけどに注意する

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等を使用する際は、長時間同じ場所を温めないでください。長時間肌に触れ続けることによって、低温やけどを負うおそれがあります。

また、就寝中は布団の外へ出す、体から離す、電気毛布の場合は高温で使用しない等の注意が必要です。

低温やけどの場合、やけどを負った直後は痛みも少なく、軽傷に見える場合が多いものの、時間の経過とともに状態が悪化する場合があります。痛みや違和感を感じたときには直ちに使用を中止し、専門医に相談してください。

■ 低温やけど^{※10}とは

温かいと感じる程度の温度でも、長時間にわたって同じところの皮膚に触れていると、皮膚温度が上がり、皮下の細胞組織などが壊死するために「低温やけど」になります。

44℃では3～4時間、46℃では30分～1時間、50℃では2～3分で「低温やけど」になると言われています。

一般的な「やけど」は皮膚の表層のみで起こりますが、「低温やけど」は皮膚の深部にまで及び、皮下組織が壊死する場合がありますため、重傷事故に至るおそれがあります。



出典：山田幸生「低温やけどについて号」製品と安全第72、製品安全協会

(写真) 就寝中のゆたんぽ使用によって生じた低温やけど

(※10) 血流や皮膚感覚は個人差が大きく、接触時間によっては、44℃以下でも低温やけどになるおそれがあります。

【NITEが実施した過去の注意喚起・関連情報】

- 電源コード及び配線器具の事故防止（平成25年12月26日）
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs131226.html>
- 電気こたつ、電気カーペット及びゆたんぽの冬の事故の防止（平成24年11月22日）
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs12112201.html>
- 電気こたつ、ゆたんぽ等の冬場の事故防止（平成24年2月23日）
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs12022301.html>
- 暖房器具による事故の防止について（平成23年10月20日）
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs111020.html>
- こたつの事故の防止（平成22年12月16日）
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs101216.html>
- 電気ストーブの事故の防止について（平成22年11月25日）
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs101125.html>

4. 社告・リコール製品による事故

(1) 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数

表5に「社告・リコール製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

平成21年度から平成25年度までの5年間に発生した電気暖房機器やゆたんぼ、カイロ等による事故1,217件のうち、社告・リコール^{※11}を行った製品による事故は372件(30.6%)ありました。このうち、96件(7.9%)は社告・リコール実施後に発生した事故となっています。

社告・リコール実施後に発生した1件の死亡事故は、ハロゲンヒーターの整流器(ダイオード)の不良による発火事故で、平成23年に発生したものです。輸入事業者が倒産したため、販売事業者が平成18年度から自主回収を行っていました。

社告・リコール製品をそのまま使い続けることは大変危険なため、お使いの製品が社告・リコール製品に該当している場合には、不具合が認識されない場合であっても直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

表5 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数^{※12}

製品の種類		被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損				
電気暖房機器	電気ストーブ	1 [1]		2 [1]	47 [29]	71 [34]	1	122 [65]		
	電気温風機 (ファンヒーター)				1	192 [2]		193 [2]		
	電気カーペット				5 [1]	3 [2]		8 [3]		
	電気こたつ			1	3 [2]	4 [1]		8 [3]		
	電気マット			2 [2]	5 [4]	3 [1]		10 [7]		
	電気あんか				2 [2]			2 [2]		
	電気足温器					13 [7]		13 [7]		
ゆたんぼ		5 [3]	2 [1]	3	3 [3]		13 [7]			
カイロ				1	1		2 [0]			
豆炭あんか			1				1 [0]			
合計	事故件数	1	5	8	67	290	1	372		
	社告・リコール実施後事故件数	[1]	[3]	[4]	[38]	[50]	[0]	[96]		

- (※11) 社告・リコールには消費者への注意喚起を含む。
- (※12) 平成 26 年 10 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた社告・リコール製品による事故発生件数。
[]は社告・リコール実施後に発生した事故件数

(2) 社告・リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造業者、販売業者等の事業者が行った社告・リコール情報を収集したデータベースを公開しており、社告・リコール情報の検索を行うことができます。

平成 21 年 4 月以降に行われた電気暖房機器やゆたんぽ・カイロ等の社告・リコール情報について、別紙 2 に記載しています。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE」、「リコール」等の単語で検索してください。



お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大福 敏彦
担当者 長田、池谷、西澤

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品起因であるが、その原因が不明のもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	原因不明
	H	調査中のもの	調査中のもの

平成 21 年度以降に NITE に通知された電気暖房機器やゆたんぼ、カイロ等の社告・リコール情報（修理・施工不備によるものや注意喚起を含む）について、以下の表に示します。

社告・リコール一覧

公表日	品名	事業者名	概要
2014/02/20	電気ストーブ	株式会社ダイエー	<p>[製品名及び型式]</p> <p>1. 商品名： 「コルティナ 電気ストーブ DES-902」 （カラー：イエロー・グリーン・ホワイト）</p> <p>2. 販売店舗： ダイエー、グルメシティ、マルエツ、今治デパート、高知スーパーマーケット、(株)東武、ベルシャイン、ヤササキパリオなど合計 384 店舗 ※ 対象店舗は、下記 URL より、ご確認ください。</p> <p>[URL] http://www.daiei.co.jp/corporate/index.php/release/lists/detail/997</p>
2013/12/10	電気ストーブ	株式会社ピーナッツ・クラブ（販売）株式会社ヨシナ（輸入）	<p>[製品名及び型式]</p> <p>Smart-Style パワフルヒーター 型番：NSB-C56 商品コード：KK-00131</p> <p>[URL] http://www.peanuts-club.co.jp/content/item-info.html#pfh</p>
2013/03/11	電気ストーブ	燦坤（サンクン）日本電器株式会社	<p>※ 2012 年 2 月 24 日に新聞紙上で行った社告の再社告</p> <p>[製品名及び型式]</p> <p>TSK-5303 (Q、Y、L、) シリーズ（2003 年製～2007 年製）、SHQ-8 (2007 年製)、SHH-8 (2007 年製)、SHU-8 (2007 年製)、FS-800W (2005 年製～2007 年製)</p> <p>[URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html</p>
2011/02/15	電気ストーブ（カーボンヒーター）	燦坤（サンクン）日本電器株式会社	<p>[製品名及び型式]</p> <p>電気ストーブ（カーボンヒーター） ブランド名：EUPA（ユーパ） 機種名：UHC-3T：（色：ベージュ）/UHC-9T：（色：ブルー）/TSK-5328CT（2007 年製）</p> <p>[URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html</p>
2010/01/30	電気ストーブ	松木技研株式会社	<p>[製品名及び型式]</p> <p>マクセリア 速暖カーボンヒーター：MCH-600</p> <p>[URL] http://www.matsuki-giken.jp/osirase.html#mch600</p>
2009/05/08	電気ストーブ（ハロゲンヒーター）	コーナン商事株式会社	<p>[製品名及び型式]</p> <p>KK22-140H</p> <p>[URL] http://www.hc-kohnan.com/pdf/info_090508.pdf</p>

公表日	品名	事業者名	概要
2010/07/30	蓄熱式電気暖房器	北海道電機株式会社	<p>※ 2008年8月1日に実施した社告の再掲</p> <p>[製品名及び型式]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道電機株式会社：暖吉くん ME シリーズ <ul style="list-style-type: none"> • 型番：ME-4000 製造番号 * =M40A02118～M40A02301/ME4A00001～ME4A00542 製造番号=ME4A00543～ME4A02776 • 型番：ME-5000 製造番号 * =M50A02116～M50A02279/ME5A00001～ME5A01267 製造番号=ME5A01268～ME5A03437 • 型番：ME-7000 製造番号 * = M70A02702～M70A02908/ME7A00001～ME7A00902 製造番号=ME7A00903～ME7A05280 ● 北日本電線株式会社：蓄暖王 HHKⅢシリーズ (OEM) <ul style="list-style-type: none"> • 型番：HHKⅢ-4000 製造番号 * =HⅢ4A00001 ～HⅢ4A00595 製造番号=HⅢ4A00596 ～HⅢ4A02315 • 型番：HHKⅢ-5000 製造番号 * = HⅢ5A00001 ～HⅢ5A01311 製造番号=HⅢ5A01312 ～HⅢ5A02878 • 型番：HHKⅢ-7000 製造番号 * = HⅢ7A00001 ～HⅢ7A00608 製造番号=HⅢ7A00609 ～HⅢ7A0 <p>[URL]</p> <p>http://hokkaido-denki.co.jp/news/ http://www.kitaniti-td.co.jp/kinkoku/01/index.html#100730</p>
2014/04/16	電気カーペット	パナソニック株式会社 (旧社名：松下電器産業株式会社)	<p>[製品名及び型式]</p> <p>商品名：フローリング調 電気カーペット 「かんたん床暖」 ブランド名：National</p> <p>品番：DC-25B8 JANコード：(M)4984824529915 品番：DC-3B8 JANコード：(M)4984824529922 品番：DC-25G1 JANコード：(B)4984824723634、(B)4984824723597 品番：DC-3G1 JANコード：(B)4984824723641、(M)4984824723627 品番：DC-25G2 JANコード：(B)4984824774049、(M)4984824774032 品番：DC-3G2 JANコード：(B)4984824774063、(M)4984824774056</p> <p>商品名：タフ素材カーペット「タフペット」 ブランド名：National</p> <p>品番：DC-2D1 JANコード：(C)4984824637221 品番：DC-3D1 JANコード：(C)4984824637238</p> <p>商品名：フローリング調 電気カーペット 「かんたん床暖」 ブランド名：Panasonic</p> <p>品番：DC-25G3 JANコード：(B)4984824829497、(M)4984824829503 品番：DC-3G3 JANコード：(B)4984824829527、(M)4984824829510</p> <p>[URL]</p> <p>https://sec.panasonic.co.jp/ap/info/ssl/announce/doc201404.html</p>

公表日	品名	事業者名	概要
2011/01/11	電気カーペット	東レ株式会社	<p>※ 2008年5月に続いて、2回目のリコール社告</p> <p>【製品名及び型式】 ダンボッポ・だんぼっぽ・ほかにか・ほかほかオーケーの全ての型番</p> <p>【URL】 http://www.toray.co.jp/aboutus/information/inf110111.html</p>
2010/01/26	電気カーペット	パナソニック株式会社 / パナソニック電気株式会社	<p>【製品名及び型式】 パナソニック電気販売製品…ホットカーペ ホット畳</p> <p>【DR2で始まる品番】 DR2006 DR2302 DR242 DR213 DR2305 DR243 DR2133 DR2312 DR244 DR232 DR246 DR214 DR2144J DR2320 DR249 DR313 DR2145 DR2321 DR2507 DR2145J DR23220 DR2508 DR2146J DR2327 DR2509 DR2147J DR2330 DR253 DR215 DR235 DR254 DR223 DR240 DR276 DR230 DR2401 DR277 DR2300 DR241 DR278 DR2301 DR2416 DR2801</p> <p>【DR3で始まる品番】 DR3006 DR330 DR3401 DR3007 DR3300 DR341 DR3008 DR3301 DR3416 DR3009 DR3302 DR342 DR3305 DR343 DR3133 DR331 DR344 DR314 DR3312 DR346 DR3144J DR332 DR349 DR3320 DR376 DR3145J DR3321 DR377 DR3146J DR33220 DR378 DR315 DR3327 DR3801 DR31560 DR3330 DR323 DR340</p> <p>【DR5で始まる品番】 DR5210 DR5221 DR5222 R5310</p> <p>【DR6で始まる品番】 DR6200 DR6300 DR3145</p> <p>【DR8で始まる品番】 DR8215 DR8315</p> <p>コープこうべ及び大阪北生協販売製品…コープ電気カーペット</p> <p>【ECで始まる品番】EC-2334 EC-2344 EC-8232 EC-8233 EC-8242</p> <p>【URL】 パナソニック電気 http://panasonic-denko.co.jp/hot-carpet/index.html</p>
2009/09/26	電気カーペット	クラリオン株式会社	<p>【製品名及び型式】 電気カーペット「おんどる5」「HOT 1ワン」(2畳/3畳用) YJ-320A-70、YJ-330A-70、VD-1203A-0、VD-1204A-0、VD-1205A-0、 VD-1205A-1、VD-1206A-0、VD-1207A-0、VD-1207A-1、VD-1300A-0、 VD-1301A-0</p> <p>【URL】 http://www.clarion.com/jp/ja/topics/index_2009/090926_01/index.html</p>

公表日	品名	事業者名	概要
2012/01/07	湯たんぽ (充電式)	株式会社イト ウ株式会社ヒ ロ・コーポレ ーション	<p>[製品名及び型式] 商品名：エコ湯たんぽ 型番：FR-15、MK-11、ND-13 製造年：2011年製 [URL] http://www.hiro-corpo.net/information/yutanpo.pdf</p>
2012/01/23	蓄熱式 ゆたんぽ	エレス株式会 社	<p>[製品名及び型式] エコタンポ S/L (アイボリー、レッド、ブラウン、ピンク) [URL] http://www.elaiice.jp/press/ecotanpo0214.pdf</p>
2010/03/30	電気蓄熱 式湯たん ぽ	桐灰化学株式 会社 (販売) / フカダック株 式会社 (輸入)	<p>[製品名及び型式] 電気蓄熱式湯たんぽ「お湯ポカ」 品番：KRI-010 [URL] http://www.kiribai.co.jp/whatsnew/history.php#0</p>
2014/01/17	蓄熱式温 水ポーチ	株式会社トラ ストレックス	<p>[製品名及び型式] 製品名：湯ぽかポーチ JANコード：4582351860084 [URL] http://www.trustlex.co.jp/products/pochi2.html</p>
2014/01/24	充電式 カイロ	株式会社イデ インターナ ショナル	<p>[製品名及び型式] 商品名：BRUNO 3way ハンディウォーマー 品番：BDE014-GLAU 商品コード：4760134 品番：BDE014-TATU 商品コード：4760135 品番：BDE014-LUCK 商品コード：4760136 品番：BDE014-LESL 商品コード：4760137 [URL] http://idea-in.com/index.php?pg=news_detail&am=850</p>